

## 北まるnet会員機関

今後も多くの参加機関を予定しています

2012.12.19現在

### ■医療機関

大内医院	オホーツク海病院
北見循環器クリニック	北見赤十字病院
北見中央病院	小林病院
三本木薬局	道東脳神経外科病院
古屋病院	本間内科医院
北星脳神経・心血管内科病院	
三宅医院	
フィール調剤薬局愛し野店	
(株)北見薬剤師会ミント調剤薬局	

### ■介護機関

オホーツク海病院指定居宅介護支援事業所  
介護老人保健施設いきいき  
介護老人保健施設さくら  
介護老人保健施設緑風通所リハビリテーション  
株式会社エムリンク 夢ふうせん  
北見市社会福祉協議会中央地区居宅介護支援事業所  
高齢者相談支援センター中央  
高齢者相談支援センター東部・端野  
高齢者相談支援センター西部・相内  
高齢者相談支援センター南部  
高齢者相談支援センター北部  
高齢者相談支援センター常呂  
高齢者相談支援センター留辺蘂  
北見地域訪問看護ステーション  
特別養護老人ホームくつろぎ  
北見地域ケアプラン相談センター  
特別養護老人ホームくんねつぶ静寿園  
訪問看護ステーションタオ

### ■その他機関

北見医師会	北見市社会福祉協議会
北見市	北見歯科医師会
北見工業大学	北見地区消防組合

北まる net は  
きたみの医療と介護を  
ネットワークでつなぎます

### 北見市医療福祉情報連携協議会の事業

1. 健康医療情報共有のための情報基盤の構築とその利活用。
2. 地域連携クリニカルパスの電子情報化による効率的運用。
3. 地域診療連携システムの構築。
4. 健診データ管理及び脳卒中・糖尿病・慢性腎臓病・慢性閉塞性肺疾患などの慢性疾患における診療連携のためのデータ管理。
5. 介護福祉分野等での共有情報の利活用。
6. 情報基盤から得られる公衆衛生的データの解析による地域の健康増進。
7. 救急医療における共有情報の利活用。
8. 「お薬手帳」の電子化、処方箋の電子化、薬局での服薬指導に関する共有情報の利活用。
9. 健康医療情報共有のための情報基盤に関する連絡協議及び情報交換・研修。

### 北見市医療福祉情報連携協議会 事務局

北見市幸町3丁目1-24 北見医師会内  
電話:0157-23-2787 FAX:0157-25-5260  
メール:info@kitamaru.net  
<http://kitamaru.net/>

北見市医療福祉情報連携協議会



## 協議会設立趣意

我が国の人口は既に高齢者の人口が約2割を超えるなど、高齢化が極めて急速に進み、また生活習慣病対策による疾患の早期発見・対応が必要です。発病後施設や在宅サービスのどちらを利用する場合も限られた社会資源を有効に活用した支援が重要となります。

北見市では高齢者人口が全国平均を上回り急務の課題です。この課題を克服し健康で、生きがいを持って、家庭や地域で生活できる支え合いある社会、北見市を築くことは重要です。一方、保健、救急医療や慢性疾患患者の増大、受け入れ施設の不足、在宅生活支援に伴う関係機関の連携不足など課題は未解決です。

早急に縦割りであった保健、医療、福祉の横の繋がりを強め、北見市民が安心して暮らせる共生社会の再構築が必要不可欠です。

このため、様々な医療や介護の情報を厳格な管理下に、医療介護に関わる多職種による相互有効活用ができるシステムにより社会資源の有効活用と健康増進に対する市民の意識改革を図る取り組みが必要です。

昨今は連携の手段として、ICT(情報通信技術)の進歩が著しく、また、関係機関の電子媒体の整備も進んでいることから、北見市独自のネットワークを構築するための環境が整っています。しかし、この構築のためには、個人情報保護や社会保障の総番号制など地域として超えなければならない課題もあります。

これらの課題解決のため、平成24年7月に北見市医療福祉情報連携協議会が発足しました。

皆様の幅広いご支援とご協力をいただきたく、心からお願い申し上げます。

北見市医療福祉情報連携協議会 会長 古屋聖児

## 「北まるnet」の概要



## 「北まるnet(ネット)」とは何ですか？

\* この街で暮らす全ての高齢者や障がい者が健康で生きがいをもち、家庭や地域で生活できるように支え合う社会を築いていくために、医療と介護の情報共有を円滑に行うことが出来るように開発された情報通信技術システムのことです。

## 北まるnet の運営・管理者は誰ですか？

\* この地域の医療機関、介護保険事業所、薬局、消防組合、行政などで構成される『北見市医療福祉情報連携協議会』が運営・管理を行います。なお、この協議会の会長は北見医師会会長が務めています。

## 利用を断った場合、不利益はないの？

\* 「北まるnet」にご協力いただけない場合でも、これからの治療やサービス利用に何ら不利益を生じることはありませんのでご安心ください

## 途中でやめることは出来るの？

\* 同意の撤回をされる場合、説明を行った医療機関もしくは介護保険事業所等にお申し出ください。

## 個人情報等が漏れる心配はないの？

\* 提供いただいた利用者の医療・福祉情報、個人情報等はすべて安全に管理され、個人情報が公表されたり、他に漏れる心配はありません。また、利用者の許可なく他の目的に使われることもありません。

## 利用者の利点(メリット)はあるの？

\* この「北まるnet」を利用し、利用者の医療・福祉情報、個人情報を「北まるnet」に参加している関係機関同士で情報共有が図られるので、切れ目のない質の高いサービスを提供することが可能となります。



## 「北まるnet（ネット）」とは

現在、医療と介護の情報はそれぞれバラバラに把握されています。病院が持つ患者さんの情報はケアマネジャー（介護支援専門員）は知りません。逆に介護サービスを利用しているかどうか入院先の医療者は知りません。その結果、患者さんや利用者に不利益が生まれています。

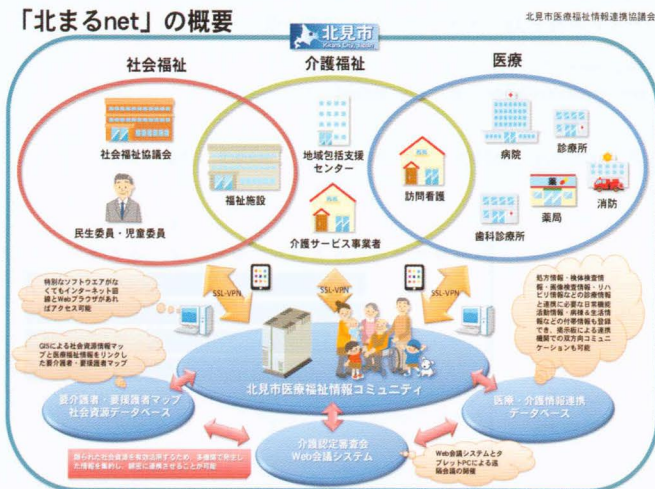
北まるnetはこういった医療と介護の情報共有を円滑に行うことが出来るように開発された情報通信技術システムの事です。

北見市医療福祉情報連携協議会では、様々な医療や介護の情報を厳格な管理下に、医療介護に関わる多職種による相互有効活用ができるシステムにより社会資源の有効活用と健康増進に対する市民の意識改革を図る取り組みを行っています。

皆様の幅広いご支援とご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

北見市医療福祉情報連携協議会 会長 古屋聖児

### 「北まるnet」の概要



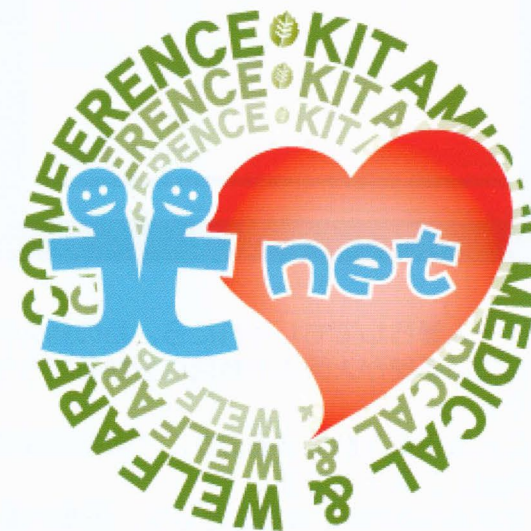
### 北見市医療福祉情報連携協議会の事業

1. 健康医療情報共有のための情報基盤の構築とその利活用。
2. 地域連携クリニカルパスの電子情報化による効率的運用。
3. 地域診療連携システムの構築。
4. 健診データ管理及び脳卒中・糖尿病・CKD・COPDなどの慢性疾患における診療連携のためのデータ管理。
5. 介護福祉分野等での共有情報の利活用。
6. 情報基盤から得られる公衆衛生的データの解析による地域の健康増進。
7. 救急医療における共有情報の利活用。
8. 「お薬手帳」の電子化、処方箋の電子化、薬局での服薬指導に関する共有情報の利活用。
9. 健康医療情報共有のための情報基盤に関する連絡協議及び情報交換・研修。

### 北見市医療福祉情報連携協議会 事務局

北見市幸町3丁目1-24 北見医師会内  
 電話:0157-23-2787 FAX:0157-25-5260  
 メール: med.wel.con.kma@gmail.com  
<http://kitamaru.net/>

## 救急医療情報Padシステム と電子お薬手帳のご案内

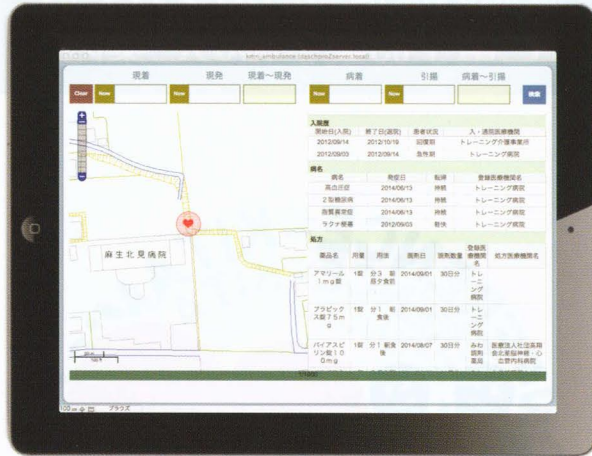


北まるnet

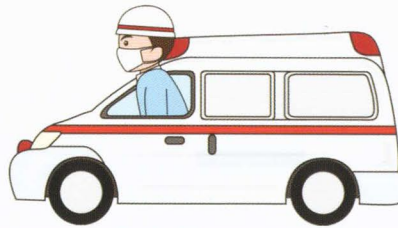
きたみの医療と介護を  
 ネットワークでつなぎます  
 北見市医療福祉情報連携協議会



# 「救急医療情報Pad」システム



## 北まるnet「救急医療情報Pad」



### 救急出動事例

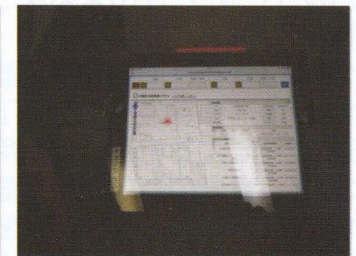
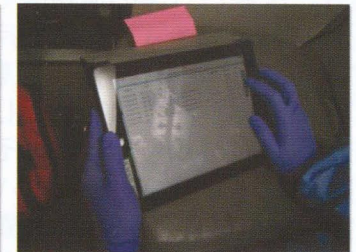
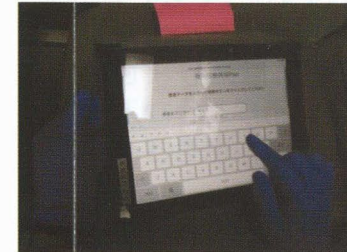


車両動態表示システム (AVM)



救急出動

## 出動中の救急車内



「一人暮らしでもし倒れたら、私の病気や飲んでいる薬が入院先の病院に分かるだろうか？」

こんな不安を解消するのが、「救急医療情報Pad」システムです。

北まるnetの新たな機能として、医療介護連携で蓄積されたあなたの医療の情報を再利用し、救急隊があなたの要請を受けた際、かかりつけの医療機関はどこか、既往歴は何か、内服している薬は何かをタブレット端末上でリアルタイムに参照できるシステムを北まるnetでは追加しました。

このシステムを利用することで、救急搬送先の医療機関を効率的に選定できるようになり、現場から医療機関までの搬送時間の短縮が期待されます。

日常では医療機関と介護保険サービスとの情報共有に用いますが、いざという時に救急隊があなたの情報を活用できる仕組みです。

# 「救急医療情報Pad」システム

東日本大震災以降、医療インフラが被害を受けた際の代替ツールとして、お薬手帳の有効性が注視され活用が推進されています。このお薬手帳を電子化した「電子お薬手帳」システムも追加しました。このシステムを利用することで、医療機関・調剤薬局は、重複薬等のチェックや、副作用情報の共有を容易にできるようになり、処方・調剤時に事故防止抑制が期待されます。

そして、電子お薬手帳で登録された、かかりつけ医や服薬情報は、救急医療情報Padで再利用されます。

このように、北まるnetは、限られた社会資源を有効活用するためのICTツールとして利用されています。

### 患者処方情報

北まるID:kmm2014001000001

テスト患者 001 (テストカンジャ イチ) 様

1962/09/01 (51) 男性

住所: 北海道北見市東三輪 丁目 番地 電話番号: 0157-00-0000

QRコード読み込み 調剤記録 直近の調剤カレンダー 調剤履歴 病名 検示簿

